

令和5年度野生鳥獣（イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル）
生息動態調査業務 実施要領

1 目的

本業務は、イノシシ、ニホンジカ及びニホンザルの生息状況の動向や農業被害状況等を調査することにより、地域の状況に応じた効率的な捕獲と防除を実施するための資料及び第二種特定鳥獣管理計画の資料の作成を目的とする。

2 履行期間 契約日から令和6年3月22日まで

3 業務内容

(1) イノシシ

番号	実施項目	内容等
①	生息密度指標調査 (出猟カレンダー調査)	狩猟者から回収した出猟カレンダーから、CPUE、SPUEを求める。
②	分布・被害状況等調査	捕獲結果及び農作物被害、生息密度指標等のデータから、京都府鳥獣保護区等位置図におけるメッシュ（以下「メッシュ」という。）ごとに分布・被害状況等を把握する。

(2) ニホンジカ

番号	実施項目	内容等
①	生息数推定及び将来予測	捕獲頭数等これまでに得られた調査結果を基に、生息数推定及び将来予測を実施する。

(3) ニホンザル

番号	実施項目	内容等
①	電波発信器装着及び個体数カウント	サルの分布状況把握のため、群れに発信器を装着して追跡等ができるようにする。個体数カウントをすることにより、群れの規模の把握を行う。
②	集落代表者アンケートの実施	次年度用アンケート用紙の印刷、今年度アンケート結果の集計と分析を行う。

(4) 共通

番号	実施項目	内容等
①	第二種特定鳥獣管理計画関係資料作成及び会議等出席	第二種特定鳥獣管理計画の資料作成及び府が開催する会議等に参加する。
②	調査報告書作成	今年度の調査報告書を作成する。

4 調査内容

(1) イノシシ

① 生息密度指標調査

府が収集した、狩猟捕獲に係る出猟カレンダー情報を解析し、銃猟 SPUE 値、銃猟 CPUE 値、くくりわな CPUE 値及び箱わな CPUE 値を算出する。

【解析項目】

銃猟 SPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの目撃数
銃猟 CPUE 値	銃猟における単位努力量あたりの捕獲数
くくりわな CPUE 値	くくりわな猟における単位努力量あたりの捕獲数
箱わな CPUE 値	箱わな（捕獲柵含む）における単位努力量あたりの捕獲数

② 分布・被害状況等調査

捕獲結果、農作物被害及び生息密度指標等のデータをメッシュ単位で図示する。

併せて、各情報を重ね合わせることで、被害を受けている区域とその対策状況を可視化する。

(2) ニホンジカ

① 生息数推定及び将来予測

エゾジカ管理のために作成されたシミュレーションプログラム(Matuda et al. 1999)を基に、密度指標や糞塊密度調査結果を参考にしながら、生息数又は捕獲数の推移を以下の2パターンで作成する。

ア 令和5年度以降の捕獲を令和4年度と同様とした場合

イ 令和2年度の生息数を令和8年度に半減させる場合

(3) ニホンザル

① 電波発信器装着及び個体数カウント

山城市管理ユニット内において、未装着又は近年中に電池切れにより停波が予想される群れを対象に、電波発信器の装着及び群れの個体数カウントを行う。電波発信器装着の対象群は2群程度とし、1群に対し1頭のメス成獣若しくは亜成獣を麻酔銃により捕獲し、電波発信器を装着した上で放獣する。個体数カウントをする対象群は1群とする。

装着する発信器は、サーキットデザイン社製の LT-01 相当以上とする。なお、それぞれ対象群については、担当者と協議の上決定することとする。

② 集落代表者アンケートの実施

府内全域の被害状況及び被害対策状況を把握するため、集落代表者を対象としたアンケート調査を実施し、結果の集計及び解析を行う。

(4) 共通

① 第二種特定鳥獣管理計画関係資料作成及び会議等出席

第二種特定鳥獣管理計画（イノシシ、ニホンジカ及びニホンザル）の令和6年度年度別事業実施計画作成に当たり、既存図表の更新とそれに合わせた文言の修正を行うとともに、専門家会議及び検討会に参加する。

② 調査報告書作成

調査結果等を集約の上、報告書を作成すること。

なお、その内容については、事前に農林水産部農村振興課と協議すること。

提出方法：A4版冊子2部 及び 電子データ

5 報 告

受託者は、着手届（第1号様式）を契約締結後7日以内に提出し業務を実施するものとする。

業務着手後は、調査主任届（第2号様式）を遅滞なく知事に提出することとする。

また、受託者は、調査結果等を集約の上、調査報告書を作成し、業務完了報告書（第3号様式）とともに、令和6年3月22日（金）までに提出することとする。

6 提出先

各様式の提出及び報告先は京都府農林水産部農村振興課とする。